

オートアフターマーケット活性化連合会員 各位



AAALヨーロッパ自動車関連視察 2013

企画ご提案書

近畿日本ツーリスト

P 2	－概要
P 4	－全体行程表
P 5	－ご宿泊ホテル
P 8	－モーターショーご案内
P 9	－視察先候補ご案内
P 1 6	－訪問都市見所
P 1 9	－今後の流れ
P 2 0	－お申込書記入例
(お申込書は、別添の物をご利用下さい。)	
P 2 1	－旅行条件
P 2 2	－連絡先

AAALヨーロッパ視察 2013

日程

2013年9月20日(金)～ 27日(金)

開催地

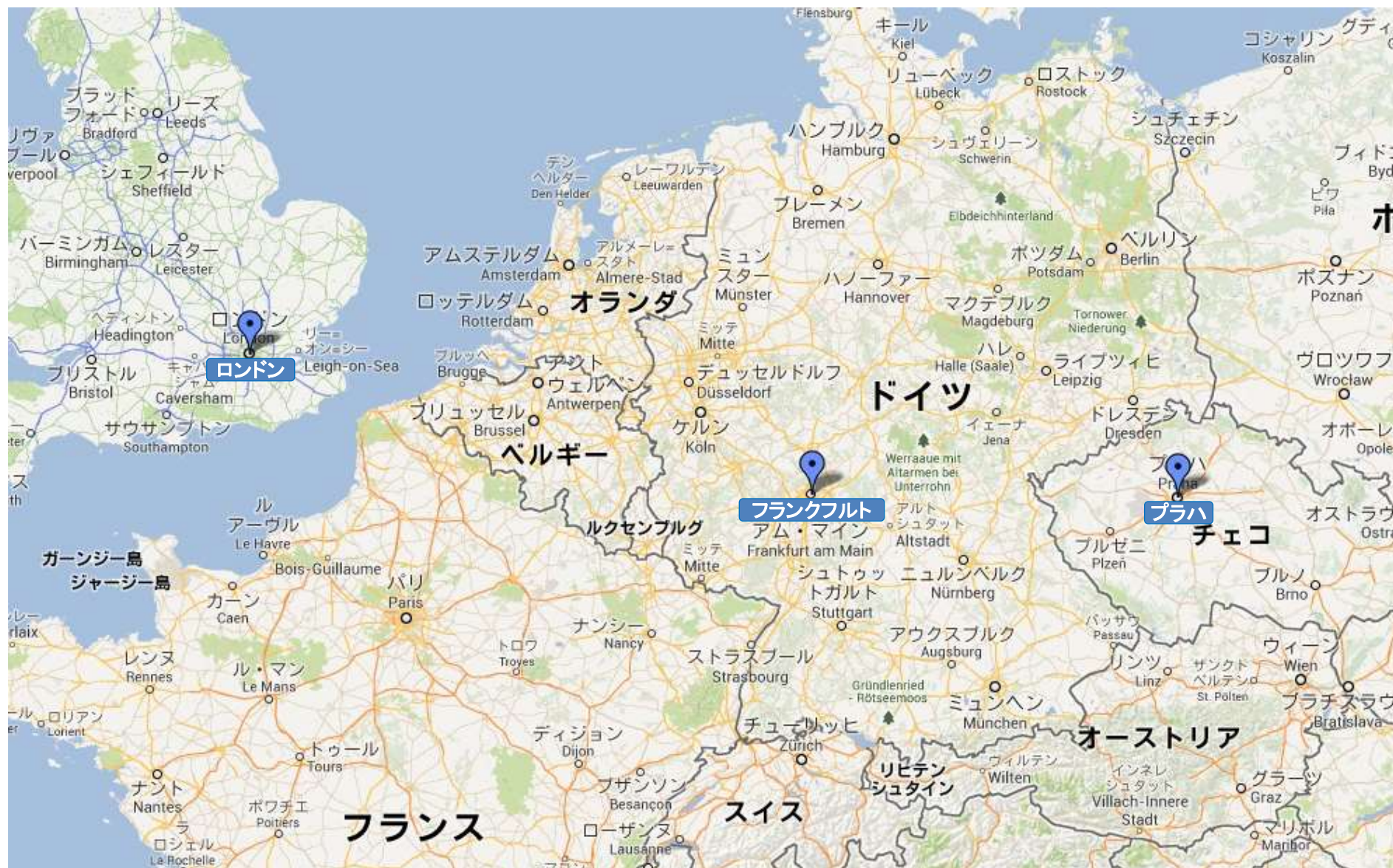
ロンドンコース(フランクフルト～プラハ～ロンドン)

実施内容

IAA CARS 2013視察および、各地自動車関連施設視察

ご参加者

15名様以上



日次	月日曜	発着地/滞在地	現地時間	交通機関	摘 要	食事
1	2013年 9月20日 (金)	成田空港 成田空港発 フランクフルト着	朝 11:25 16:35	NH209 専用バス	集合・結団式 空路、フランクフルトへ(所要時間12:10) 到着後、専用バスにてホテルへ 懇親夕食会 【フランクフルト泊】	機内 機内 夕食
2	9月21日 (土)	フランクフルト滞在	終日	専用バス 専用バス	会場へ ★IAA CARS 2013自由視察 ホテルへ 懇親夕食会 【フランクフルト泊】	朝食 夕食
3	9月22日 (日)	フランクフルト発 ブラハ着	10:10 11:10	LH1394 専用バス	空路、ブラハへ(所要時間1:00) 着後、 ★ブラハ国立技術博物館他 懇親夕食会 【ブラハ泊】	朝食 夕食
4	9月23日 (月)	ブラハ滞在	終日	専用バス	★ブルノ・サーキット視察他 懇親夕食会 【ブラハ泊】	朝食 夕食
5	9月24日 (火)	ブラハ発 ロンドン着	12:20 13:30	BA855 専用バス	(所要時間2:10) 着後、 ★コベントリー交通博物館他 懇親夕食会 【ロンドン泊】	朝食 夕食
6	9月25日 (水)	ロンドン滞在	終日	専用バス	★シルバーストーン・サーキット他 懇親夕食会 【ロンドン泊】	朝食 夕食
7	9月26日 (木)	ロンドン発	終日 19:35	NH202	ロンドン自由視察 空路、成田へ(所要時間11:45) 【機内泊】	朝食 機内
8	9月27日 (金)	成田空港着	15:20		入国後、解散	機内

※経由地、日程、交通機関、視察先、レストラン等は変更となる場合がございます。【凡例】NH=全日空、LH=ルフトハンザ、BA=英国航空

シュタイゲンベルガー バート ホンブルク

STEIGENBERGER BAD HOMBURG



エリア

フランクフルト <ドイツ>

住所

Kaiser-Friedrich-Promenade 69-75 D-61348 Bad Homburg

電話/FAX

(06172)1810 / (06172)181630

アクセス

フランクフルト国際空港(FRA)から車で30分

インフォメーション

公園を見下ろす5階建ての豪華ホテル。カジノの反対側に建つ。客室はスタンダード、デラックス、ジュニアスイート、ラクジュアリースイートの4タイプ。料飲施設はフレンチを中心としたインターナショナルレストランが1軒。大小8つの宴会・会議施設は最大300名収容。

※ツインはジャーマンダブルになります。

レストラン情報

Charly's Bistro(オリエンタル料理)



ディプロマット

DIPLOMAT



エリア

プラハ 〈チェコ〉

住所

EVROPSKA 15, PRAHA 6 16041, CZECH REPUBLIC

電話/FAX

296559111/296559215

アクセス

ルズィネ空港 (RUZYNE AIRPORT: PRG) から8KM。
地下鉄 ディヴィツカー (DEJVICKA) 駅から0.05KM。

インフォメーション

中心部北西の郊外にある近代的なホテル。地下鉄駅に近く交通の便がよい。

レストラン情報

Loreta (ビュッフェ)
Café Klimt (カフェ)
KATSURA (日本食レストラン)



ストランドパレス

STRAND PALACE HOTEL



エリア

ロンドン <イギリス>

住所

372 Strand, London, WC2R 0JJ

電話/FAX

(020)78368080 / (020)78363612

アクセス

チャリング・クロス駅から徒歩4分

インフォメーション

ロンドンの中央部・ウエストエンド地区の中心に位置し、ローストビーフで有名な「シンプソンズ」の向い側に建つクラシックなファサードと対照をなすモダンな内装。周辺にはたくさんのレストラン、バーが軒を並べ、コヴェント・ガーデンまで徒歩数分。客室はスタンダード、クラブルーム、エグゼクティブの3カテゴリーからなるスペイシヤな785室。クオリティーに満ちた上質の住環境を提供。

レストラン情報

Daawat at Johnstons (オリエンタル料理)

Strand Carvery (イギリス料理)



運輸・物流の主要な国際見本市の歴史としてのIAA（国際モーターショー/商用車見本市）の起源は100年以上遡ることができます。1897年8月、自動車は、ベルリンのプリストルホテルで展示されていました。定期的な展覧会は1991年に乗用車と商用車の交互の展覧会に分かれる事となり、奇数年にIAAはフランクフルトで自動車を、偶数年にはハノーバーで商用車を展示しています。ビジネスに最適な条件を提供し、商用車業界を代表する世界で唯一見本市です。



IAA 2013

-第65回 2013年国際モーターショー/商用車見本市-

- 開催地：ドイツ フランクフルト
- 主催者：ドイツ自動車工業会（VDA）
- 会場：フランクフルト国際見本市会場
- 面積：展示面積約20万㎡
- 出展者：42カ国 約1,751社
- 入場者：110カ国から約30万人
- 入場対象者：業界関係者・一般来場者
- 入場料：一般＝15ユーロ（2012年参考価格）



プラハ

国立技術博物館

プラハの旧市街の中心地から北へ、ヴルタヴァ川の向こう岸にそびえるレトナーの丘のすぐそばに、プラハっ子お気に入りの博物館があります。その名も国立技術博物館、巨大な機能主義建築の建物の中、5500に及ぶ展示が約4年半の改築工事を終えて、2011年にリニューアル・オープンしました。写真、印刷、天文学、建築などに関する歴史や技術を学べる博物館というとなんだかかたいイメージですが、百聞は一見にしかず。メカ好き、乗り物好きなら嬉々として数時間過ごせる博物館です。タトラやシュコダ、あるいはJawaといった会社名に代表される当時の欧州最前線の技術とデザインを駆使した逸品の数々を眺めていると、チェコ(当時はオーストリア＝ハンガリー帝国の一部、1918年からはチェコスロヴァキアとして独立)が技術的にとても進んでいたことを実感します。



ブルノ

ブルノ・サーキット



ブルノサーキットは70年以上の歴史があり、世界中のモータースポーツ関係者にとって非常に重要なサーキットです。現在のブルノサーキットは第2次世界大戦後、レースが再開された時、コースの短縮化がされるなど、著しいレイアウトの変更が行われており、

1930年台に初め公式レースが行われた時のレイアウトからは変更されていて、曲がりくねったコーナーはドライビングをより難しくし、また、それと同時に、よりオーバーテイクができるようなエキサイティングなレイアウトとなっています。



ムラダー ボレスラフ

シュコダ自動車 ムラダー・ボレスラフ村工場

ムラダー・ボレスラフ村はシュコダ自動車の本拠地として有名でシュコダ自動車博物館が併設されています。

シュコダ自動車はオーストリア＝ハンガリー帝国時代の1895年に共に自転車愛好家であった技師 Václav Laurinヴァーツラフ・ラウリンと本屋Václav Klementヴァーツラフ・クレメントが設立した自転車メーカーLaurin & Klementラウリン&クレメント社に遡ります。

1899年に自転車に簡単なエンジンを付けただけのオートバイの生産を開始、その後本格的オートバイの生産に資本を集中し成功を収める事になります。

次いで1905年に製造開始した同社初の自動車Voiturette AヴォイツレットAが爆発的ヒットとなり1907年には株式会社組織に改組し同社は事業を拡大してゆきます。

その後、兵器産業で名を成すシュコダ・コングロマリットが共同経営に名乗りを上げ同コングロマリット傘下に入り社名をシュコダ自動車へと変更しました。

第二次世界大戦中はドイツ軍の軍需品生産企業とされました。大戦後にチェコスロバキアが共産主義国家化すると民間企業の国有化政策の一環からシュコダ・コングロマリット自動車部門は分社化され、国営企業・Automobilové závody, národní podnik(AZNP)社となりました。その後大衆車の開発・生産に注力し1960年代にはリアエンジンの小型車「1000MB」と「S100/110」が販売され人気を集めました1987年にAZNP社はイタリア・ベルトーネ社設計のFF車「ファヴォリット」(Favorit)を生産し、1990年、チェコ政府はAZNP社株の大半をドイツ・フォルクスワーゲン社に売り渡し、1991年にAZNP社はシュコダ自動車としてフォルクスワーゲン傘下入りしました。



ミルトンキーンズ

シルバーストン・サーキット

シルバーストン・サーキットは、イギリス空軍が飛行場として利用していた土地に作られたサーキット。F1が選手権化された1950年に、開幕戦が行われたサーキットでもある。かつてはひし形のコーナーも少ないコースであったため、超高速コースとして知られていた。その後、コース改修を受けて低速区間が追加されたものの、現在でも高速コースであることに変わりはなく、F1サーキットの中でも平均速度の高さはトップレベルになっている。また、2011年からはスタート地点が移動し、ピットやパドックなども新しい建物になっている。



コベントリー

コベントリー交通博物館

ロンドンの北西、バーミンガムに隣接する街、コベントリーは産業革命以降、イギリスにおける自転車や自動車産業発祥の地として知られており、かつては非常に多くの自転車、オートバイ、自動車メーカーとその生産拠点が存在していた。現在でもジャガー、プジョー、ロンドンタクシーインターナショナルの3社が拠点を構えるコベントリー。その市街中心部に位置する「コベントリー・トランスポート・ミュージアム」は、イギリスの路上交通に関する最大規模の博物館で240台の自動車、94台のオートバイ、200台以上の自転車を収蔵する。1869年から1948年までのコベントリーの街並みなどを再現したコーナーや、クラシックカーから最近生産されたものまで、多彩で豊富な自動車の展示、地上において世界最速をマークしたジェットエンジン自動車『SSC』、コベントリー大学生のカーデザイン作品の展示もしている。イギリスの産業と交通発祥の地で、その歴史と文化を幅広く学べる展示内容となっている。



ビューリー

国立モーター博物館

国立モーター博物館は、イギリスを中心に車の歴史を展示しています。F1カー、レコードカー、クラシックカーが所狭しと置かれ、19世紀頃のイギリスの町や修理工場を再現したコーナーもあります。「BOND IN MOTION」コーナーでは、過去の「007」シリーズで活躍したボンドカーのオリジナルを展示しています。馬車のような車から現代のスーパーカーまで見ることができ、100年以上前に製作された電気自動車などの展示もあります。また、BBCで放送している車の長寿自動車情報番組の「Top Gear」で紹介された自動車も展示されています。ウェブサイトのVISITENGLANDでは、最も魅力的なスポットとして1位を獲得しています。



ガイドン

ヘリテージ・モーター・センター

ヘリテージ・モーターセンターは交通博物館としては英国最大規模を誇り、65エーカーの広さを誇ります。アールデコ様式の見事な建物の中には、1890年代のささやかな創生期から今日に至るまでの英国自動車産業の発展を系統立てて物語る350台の車が収容されています。

2012年ヘリテージモーターセンター内に、ジャガー社の専門展示室がオープンしました。展示車両は、1938年製のSS100から2002年製のF1レーシングカーなど、その時代を代表する10台。キャビネットにはモンテカルロ・ラリーやル・マン24時間耐久レースなど、様々なレースで栄冠に輝いた証として、トロフィー、メダルなども展示されています。

室内のディスプレイでは1940年代のXK120から1990年代に活躍したXJR-14までの映像がながされており、貴重な映像と写真によりジャガーの歴史をうかがい知ることが出来ます。



オックスフォード

プロドライブ (Prodrive Automotive Technology Limited)

イギリスモータースポーツの中心地「モータースポーツヴァレー」。レースの長い歴史と伝統を持ち、F1やWRCをはじめ、インターナショナルレースで走るマシンの約75%が作られている全世界のモータースポーツの中心とも言えます。。3000社ものモータースポーツ専門企業が存在するこの地に、様々なカテゴリーのモータースポーツに精通し、世界トップレベルの組織力・技術力を有するコンストラクターがプロドライブ (Prodrive Automotive Technology Limited) です。

1981年にアリ・バタネンのコ・ドライバーとしてWRCチャンピオンに輝いたデビッド・リチャーズが、1984年に開設した小さなワークショップ。ここからわずか4人で出発したプロドライブは、その技術力の高さと卓越した頭脳を駆使し、5つのWRCチャンピオン(マニファクチャラーズ3回、ドライバー2回)、5度に渡るBTCCチャンピオンをはじめ、各種タイトルを獲得。現在では世界を代表するファクトリーにまで成長を遂げています。ラリーやレースを通して得た膨大なノウハウを背景とした技術開発力は、モータースポーツの世界はもちろんのこと、世界中の自動車業界にも大きな影響を与えています。

現在プロドライブは、モータースポーツ活動を柱に、エンジンやトランスミッション、シャシー、エレクトロニクスなどの研究開発・コンサルティングのほか、オリジナルのストリート用パーツおよびレース車両などを生産・販売なども行なっており、その技術開発力は各方面から非常に高い評価を得ています。



ウォーキング

マクラーレン オートモーティブ (McLaren Technology Centre)

着工からおよそ5年という歳月をかけ、イギリス南部の町ウォーキングに建設された「マクラーレン・テクノロジー・センター(以下:MTC)」は、2004年5月にエリザベス女王陛下も出席してオープンセレモニーが行われました。通称“パラゴン”とも呼ばれるこのMTCは、F1部門であるマクラーレン・レーシングをはじめとする6つのグループ企業によって組織されています。05年には「Building of the Year Award」を受賞するなど豪華な外観に目を奪われがちですが、隣接する湖の湖水は再循環して施設の冷却にも利用されるなど美的性と機能性が備わった施設となっています。建物部分の面積は、ボーイング747ジャンボジェット機 9台分が収まる広さと公式サイトでは説明されており、その中には50%スケールモデルの風洞も備えられています。

■従業員数:約 900人(F1部門:約 550人)

■敷地面積:57,000平方メートル

(人工湖:50,000立方メートル)

■主な施設部門

- ・マクラーレン・オートモーティブ(市販車製造)
- ・マクラーレン・レーシング(F1)
- ・マクラーレン・エレクトロニック・システムズ
- ・マクラーレン・マーケティング
- ・マクラーレン・アプライド・テクノロジーズ
- ・アブソリュート・テイスト(ケータリング)





ヨーロッパきっての国際商業都市フランクフルト。18世紀末に金融業を営み、大財閥となったロスチャイルドが活躍したのもこの町。現在でも銀行などの高層ビルが立ち並び、ヨーロッパの金融の中心となっています。フランクフルトのもうひとつの顔が文豪ゲーテ。この町で生まれ、青年期を過ごしたゲーテの生家は博物館として公開されています。そのほかの見どころは、神聖ローマ帝国の皇帝戴冠式の祝宴が開かれた館レーマーや、ルネサンスから現代までの10万点あまりの絵画を所蔵するシュテーデル美術館など。またフランクフルトのザクセンハウゼン地区はリンゴ酒で有名で、居酒屋も多く、地元の人や観光客でいつも賑わっています。

フランクフルトの観光ポイント



大聖堂

市街を見下ろす高さ95メートルの塔のあるゴシック様式の建物、大聖堂(Dom)です。その始まりは852年にまで遡ります。1562年から1792年の間に、10人の皇帝の戴冠式が行われました。そのため「大聖堂」と呼ばれるようになりました。またそのため、「カイザードーム(皇帝の大聖堂)」ともよばれています。博物館も併設しています。



旧市街

旧市街の観光スポットは、緑地帯に囲まれた市の中心部に、高層都市街は、市の西北側に広がっています。メイン川の対岸からは好対照の景観が見られます。



ハウプトヴァッヘ

かつての自由都市フランクフルトにおける最重要「衛兵所」で、今日では市の中心地となっています。1833年に革命的な民主主義者により占拠されたことから非常に有名になりました。現在はカフェになっています。



旧オペラ座

1873-80年に建てられたこの建物は、第二次大戦中、爆弾による戦禍を受け、1976-81年に再建修復されました。中に入ると、「アルテンフォイアー(古いロビー)」があり、その昔リヒャルト・ルーゲがパリやドレスデンのオペラをも超越しようと試みたその華麗さを堪能できます。旧オペラ座内のカフェでは上品なコーヒーブレイクが楽しめます。



レーマー(旧市庁舎)

“都市貴族の3軒の館を15世紀初めに市が買い取り、旧市庁舎とした。階段状の切妻屋根が美しい。中央の建物の2階には、神聖ローマ帝国皇帝の戴冠式後の祝宴が開かれた皇帝の広間カイザーザールKaisersaalがあります。神聖ローマ皇帝52人の等身大の肖像画が壁面を飾っています。レーマーの向かい側に建ち並ぶ大きな木組みの館も旧市街の美観地区として戦後復元されました。



レーマー広場

旧市庁舎前にある広場で、正義の女神の青銅像やニコライ教会が建っています。市民の憩いの場として使われ、教会からは時を告げる鐘が響き渡ります。



ゲーテハウス

1749年8月28日、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテが生まれ、多感な少年時代を過ごした家。当時のフランクフルトで屈指の名家だった立派な家。第2次世界大戦で破壊されましたが、疎開していた調度品はそのままに、忠実に復元されています。入場は、隣接するゲーテ博物館から。博物館にはゲーテと同時代に活躍したり、ゲーテと親交があった画家の作品や、ゲーテゆかりの品々が展示されています。



マイン・タワー

フランクフルトの新しい名所は、超高層ビルのマイン・タワーの屋上展望テラス。地上200m、54階の展望台に、高速エレベーターが連れて行ってくれます。晴れた日には、すばらしいパノラマが広がります。展望フロアの1階下はレストラン&バーになっています。なお、ビルに入場の際に保安上の理由から空港と同様の手荷物およびボディチェックが行われます。



教会や大聖堂、塔や橋など、重厚な建築物が数多く残るプラハ。1000年以上もの間、ヴルタヴァ川の水面に映し出されてきたこの町は「ヨーロッパの魔法の都」と称されています。またプラハは、様々な建築様式を見ることができる世界でも珍しい町です。その歴史地区は、ロマンティックな小路と建築の宝庫となっています。

プラハの観光ポイント



カルルシュテイン城

プラハ郊外のペロウンカ川を望む美しい丘の上に建つゴシック様式の華麗な城は、14世紀にカレル4世によって建てられたもの。修道僧たちの保養所、王家の財宝の保管場所、王族の住まいや別荘として使われてきました。城内にあるマリア礼拝堂は建てられた14世紀当時の姿で残っており、宝石をちりばめた壁画や星の絵が描かれた天井画があることで有名です。



聖ヴィート大聖堂

976年には既にプラハ司教の大聖堂だった。1344年に大司教の官区になり、カレル4世により現在のゴシック様式の大聖堂が建てられました。1421年に信奉者らに破壊されたが、15世紀に復元。プラハ城内に位置しています。



プラハ城

ハラツチャニの丘に建ち、市街を見下ろすプラハ城。すでに9世紀にはこの場所に貴族の城が建てられていたが、現在の形になったのは14世紀のカレル4世の時代。広大な敷地内にはプラハ最大の教会である聖ビート教会や、ハプスブルク家に支配されるまでは王の居城だった旧王宮、10世紀に建てられたプラハ城内でもっとも古い教会聖イジー教会などがあります。



パーツラフ広場

ホテル、レストランなどが並ぶプラハでもっとも賑やかな繁華街。かつては馬市場が開かれたところで、広場というより大通りに近い。道路の幅は約60メートルもあり、ムーステク広場から国立博物館の間約750メートルにわたって延びています。ここは単に繁華街というだけでなくチェコの歴史をその目で見つめてきた生き証人でもあります。



カレル橋

ブルダバ川に架かる幅約10メートル、長さも500メートル以上ある大きな橋で、14世紀から15世紀にかけて造られました。車が通行できないため、散歩する人だけでなく、土産物売の人や大道芸人なども集まり、橋の上は1日中賑わっています。橋の左右の欄干には15体ずつ聖人像が立っているが、これは橋が完成しただけで後になって付け加えられたものです。



旧市街広場

旧市街の中心にあり、大道芸人やコンサートのチケット売りなどが集まり観光客で賑わっている広場。周囲には旧市庁舎、ティーン教会やゴルツ キンスキー宮殿など、歴史的建造物が並びます。



時計塔

時計は、1490年、天文学者でもある時計職人、ハヌシュの製作。伝説では、この傑作が完成したとき、市議会議員たちは同じ時計をほかの場所で造らないようにと、彼の目をつぶしたとされています。何度も修理され、機械部分はJ・ターボスキーが16世紀に完成されたものです。



ロンドンとは、英国のイングランド東部、テムズ川河口近くに位置する都市で、人口約737万5千人の英国の首都。紀元前1世紀にローマ人がロンディニウムと呼ばれていたテムズ川の河口に砦を築いたのがロンドンの始まりで、その後大英帝国の都として繁栄しました。第2次世界大戦後、英国の国力衰退の影響を受けて、ロンドンの経済状態は悪化し失業者があふれ出ましたが、1994年に英仏海峡トンネルを開通させ、ウォーターフロント再開発に力を注ぐなど次第に活気を取り戻しています。



バッキンガム宮殿

イギリス王室の住居であると同時に晩餐会など公式行事にも使われています。世界で最も華やかで整然とした宮殿の衛兵交代の儀式はあまりにも有名。夏季は毎日、冬季は隔日に行われます。



世界遺産

ロンドン塔

11世紀にウィリアム1世が建てた城塞。その後、歴代の王が拡張、増強して受け継がれてきました。見どころの筆頭はジュエル・ハウスで、この王室の財宝室には王冠や王の笏など、素晴らしい宝玉が展示されています。なかでも世界最大のダイヤモンドといわれる「アフリカの星」は必見。



世界遺産

ウェストミンスター寺院

英国王家と密接な関係をもつ教会。代々の国王の戴冠式が行われる寺院で、王家の多くの人が埋葬されています。創建は7〜8世紀頃といわれ、1065年にエドワード1世が寺院の基礎を築き、1245年にヘンリー3世がゴシック様式に改築、その後も増改築が繰り返され現在の姿になりました。



大英博物館

1759年に開館し、年間400万人以上が訪れる世界有数の総合博物館。特に、世界一といわれる古代コレクションの中でも「ギリシャ・ローマ」と「エジプト」のセクションは見ごたえ十分。アテネのパルテノン神殿から発掘された「セレネの馬」や、古代エジプトの象形文字の解読の手掛かりとなった「ロゼッタ・ストーン」、5000年以上前のミイラなどは歴史上大変貴重なものです。



ウインザー城

11世紀にウィリアム征服王がこの地に要塞を築いて以来続いている、イギリス王室の居城。エリザベス女王も週末はここで過ごすことが多い。城内の見どころは多く、歴代の王侯たちが使用した見事な家具調度品や美術品のあるステート・アパートメンツ、ガーター勲章の授与式が行われるセント・ジョージズ・チャペル、精巧なミニチュアのドールハウスが見られるクイーン・メアリ人形館などに人気があります。



タワー・ブリッジ

テムズ川に架かる2つの塔を持つ跳ね橋で、1894年建造のゴシック様式。大型の船が通る時は蒸気で中心部が割れてハの字に開きます。南塔には蒸気エンジンなどが見物できる橋の歴史館、タワー・ブリッジ・エクスペリエンスがあり、北と南の塔を結ぶ高さ43mのガラス張りの歩道橋からの眺望は抜群です。



世界遺産

国会議事堂(ビッグ・ベン)

議会制度発祥の国、イギリスの象徴ともいえるのが国会議事堂です。現在の建物は、王宮と議場を兼ねていたウェストミンスター宮殿が19世紀の大火で焼失されたのち、再建されたものです。議事堂の北側にはロンドン名物の時計塔がそびえています。その大きな鐘がビッグ・ベンと呼ばれていて、15分ごとに重量感あふれる音色をロンドンの街に響かせています。



ピカデリー・サーカス

ピカデリー、ジャフツベリー・アベニュー、リージェント・ストリートなど主要な通りが交差する広場。広場中央の、羽根を広げ矢を放つ天使の姿をしたエロスは、慈善家で有名なジャフツベリー伯爵の功績をたたえ、1893年にジョン・ナッシュ卿により慈善精神の象徴として建造されました。

① 参加申込書をKNTへFAX



② KNTより第1信のご送付



返送書類のご案内
海外旅行保険のご案内など

③ KNTへ書類のご返送



渡航手続き書類の返送
パスポートコピーの返送
海外旅行保険お申込書の返送

④ お支払い



ご請求書は8月中旬頃発送を予定しております。
お手数ですが、期日までにお振込みいただきますようお願い申し上げます

⑤ 『旅のしおり』のご送付



最終のご案内『旅のしおり』は
ご出発の10日～7日前頃にお送りいたします。

⑥ ご出発当日



ご出発当日は下記を予定しております。
集合場所・時間は変更になる可能性がございます。
詳細は『旅のしおり』にてご確認ください。

ご集合予定	成田空港	第1ターミナル
	4階南ウイング	9:00 集合予定

これからパスポート申請する方または申請中の方

※パスポートは7月22日までに受領されるよう、
ご申請をお願いいたします。

参加申込書記入例

近畿日本ツーリスト株式会社 御中

別紙/パンフレットに記載の旅行条件に同意します。また、旅行手配およびお客さまとの連絡等のために必要な範囲内での

申込締切
8月2日(金)

FAX:03-6730-3229 担当:トラベルサービスセンター東日本 深町・會澤行

ヨーロッパ自動車関連流通視察 ご参加申込書 1枚目

この申込書は渡航書類を作成する基本データになります。もれなく正確に楷書でご記入ください。

お申込日: 7 月 20 日

フリガナ	(姓) キンキ	(名) タロウ	性別	☒ 男 ☐ 女	国籍	☒ 日本 ☐ その他()	煙草	☐ 喫煙 ☒ 禁煙
氏名(漢字)	近 畿	太 郎						
パスポート Name (ローマ字)	(姓/Surname) KINKI		(名/Given Name) TARO		生年月日	西暦 1972 年 6 月 16 日 (口大正 ☒ 昭和 ☐ 平成 47 年)		
フリガナ	〒0000 - 0000							
現住所	東京都世田谷区〇〇 1-2 〇〇マンション301号							
電話番号	03 - 0000 - 0000		FAX番号	03 - 0000 - 0000				
職業	☒ 会社員 ☐ 会社社長 ☐ 会社役員 ☐ その他()							
会社名	(漢字) 近畿日本ツーリスト株式会社 (英文) KINKI NIPPON TOURIST CO., LTD.					所属団体	APALA	
所属先	部課所名	(漢字) 第2営業本部 (英文) Sales departmentn 2			役職	(漢字) 課長 (英文) Manager		
フリガナ	〒0000 - 0000							
所在地	東京都千代田区〇〇 1-2 〇〇ビル14階							
電話番号	03 - 0000 - 0000		FAX番号	03 - 0000 - 0000				
携帯電話番号	090 - 0000 - 0000		Eメールアドレス	Kinki-taro@knt.co.jp				
渡航中の 国内連絡先 (に家族に 限ります)	氏名	近鉄 花子			続柄	妻		
	住所	〒 - 現住所に同じ			電話番号:	- -		

■2014年3月20日以降も有効期限が残っており、査証余白欄が見開き2ページ以上あるパスポートをお持ちですか？

パスポートの有無 有効期限について	☐ 持っている ⇒ 2枚目にパスポートコピーを貼り付けお送りください。 ★パスポートの更新予定がある場合、必ず連絡をお願いいたします。 ☒ 持っていない、または申請中⇒ 申請予定: 7 月 26 日 受領予定: 8 月 5 日 ※受領次第、2枚目にパスポートコピーを貼り付けお送りください。
----------------------	---

お部屋割り について	☒ 2名1室を希望する (同室希望者 氏名 近鉄 次郎 様) * 他の会社のお客さまとの相部屋は取扱いたしません。 ☐ 1人部屋を希望する (別途お一人様68,000円かかります) ※部屋数に限りがあり、ご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。
ビジネスクラス について 全日空の区間	☐ 希望する(別途お一人様458,000円かかります。) ※お席に限りがございます。 ⇒ 座席希望: ☐ 通路側 ☐ 窓側 ☐ 希望なし ※ご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

FAX:03-6730-3229 担当:トラベルサービスセンター東日本 深町・會澤行

ヨーロッパ自動車関連流通視察 ご参加申込書 2枚目

お名前	近畿 太郎
日中の連絡先 について	☒ 所属先(連絡 ☒ 可 ☐ 不可) ☐ 現住所(連絡 ☐ 可 ☒ 不可) ☒ 携帯電話(連絡 ☒ 可 ☐ 不可) ☒ E-mail(連絡 ☒ 可 ☐ 不可) ☐ その他連絡事項() ★連絡先の指定がない場合は所属先・現住所・携帯番号いずれかへご連絡いたします。ご了承ください。
書類送付先 について	☐ ご本人様(口所属先 ☐ 現住所) ☒ 窓口ご担当者様(お名前: 近畿 一郎 部署役職: 総務部 課長 電話: 03-0000-0000 住所: 〒 勤務先住所に同じ) ★書類送付先のご指定がない場合は、ご本人様所属先住所へお送りいたします。ご了承ください。
請求書送付先 について	☐ ご本人様(口所属先 ☐ 現住所) ☒ 窓口ご担当者様(お名前: 近畿 一郎 部署役職: 総務部 課長 電話: 住所: 〒 勤務先住所に同じ) ★書類送付先のご指定がない場合は、ご本人様所属先へお送りいたします。ご了承ください。
備考	

パスポートコピーをこの欄に貼付してください

【顔写真ページ見本】



【追記ページ見本】



お名前の訂正をおこなった方は、
追記のページも併せてご返送ください。

【旅行条件】

＜ご旅行代金＞ 9月20日(金)～9月27日(金)

お一人様 578,000円(2名様1部屋利用)

(燃油サーチャージは、変更になる可能性があります。)

※募集人員先着20名様。(最少催行人員15名様)

●旅行代金に含まれるもの

- (1) ご旅行日程に明示した航空・船舶・鉄道など利用運送機関の運賃
- (2) ご旅行日程に明示した送迎バス等の料金
- (3) ご旅行日程に明示したホテルなどの基本宿泊料金および税・サービス料金(ツイン・2名1室利用、トイレ付)
- (4) ご旅行日程に明示した食事・飲物の料金及び税・サービス料金
(朝6回、昼0回、夕6回、夕食お飲物代は、一部含んでおります。現地で過不足ございましたら、調整させていただきます。)
- (5) ご旅行日程に明示した観光の入場料・拝観料・ガイド料
- (6) 手荷物運搬料金
- (7) 団体行動中のチップ
- (8) 添乗員費用
- (9) 欧州空港税、成田空港施設使用料、燃油サーチャージ(¥50,600-変更の可能性あり)
- (10) 旅行計画作成にかかる企画料金
- (11) 渡航手続取扱料金(出入国記録書類作成料)

●旅行代金に含まれないもの

上記に記載がないものは旅行代金に含まれません。その主なものを例示します。

- (1) 渡航手続実費(旅券・査証の取得料金、予防接種料金)
- (2) 超過手荷物料金
- (3) 個人的な費用(電話・電報料、クリーニング代、追加飲食費用等)
- (4) 傷害・疾病に関する医療費
- (5) ビジネスクラス追加利用料:458,000円(ロンドンコース・日本発着のみ)
- (6) 一人部屋追加利用料:68,000円
- (7) 任意の旅行傷害保険料
- (8) その他日程表に記されていないもの

●旅行代金に含まれないもの・・・上記航空機とは別に一ヶ月前より、20%、3日前より50%当日100%のキャンセル料が掛かります。

2013年7月8日(月)現在

皆さんのお申込みを、お待ち申し上げます

近畿日本ツーリスト㈱ 第2営業支店

住所：東京都千代田区神田和泉町1－13

住友商事神田和泉町ビル 14F

TEL:03-6891-9302 FAX:03-6891-9402

担当：吉田・伊藤

問合せ時間：9:30～17:00（土日祝休）